



企画概要 平成 25年3月22日現在

<http://aichitriennale.jp/>

目次

開催概要	P01
テーマ・コンセプト	P02
企画体制	P03
展開概要	P05
主な特徴	P09
参加アーティスト	P11
開催日	P13
チケット情報	P14
会場及びアクセス	P15

開催概要

開催目的

- ・新たな芸術の創造・発信により、世界の文化芸術の発展に貢献します。
- ・現代芸術等の普及・教育により、文化芸術の日常生活への浸透を図ります。
- ・文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図ります。

名称

あいちトリエンナーレ2013／Aichi Triennale 2013

芸術監督

五十嵐太郎(東北大学大学院工学研究科教授(都市・建築学))

会期

2013年(平成25年)8月10日(土)～10月27日(日)(79日間)

主な会場

愛知芸術文化センター
名古屋市美術館
名古屋市内のまちなか(長者町会場、納屋橋会場など)
岡崎市内のまちなか(東岡崎駅会場、康生会場、松本町会場)
※その他、オアシス21、テレビ塔などの都市空間で展開

事業展開

- ・現代美術を基軸としますが、愛知芸術文化センターの複合機能を活かしダンス、演劇、オペラなどの舞台芸術も併せて展開します。
- ・幅広い層を対象とした普及・教育プログラムを展開します。
- ・都市空間の魅力を増すスペクタクルな展開などにより、賑わいを創出します。

主催

あいちトリエンナーレ実行委員会

テーマ

揺れる大地—われわれはどこに立っているのか:場所、記憶、そして復活

Awakening —Where Are We Standing? —Earth, Memory and Resurrection

コンセプト

あいちトリエンナーレ2013は、多くの来場者が訪れ、成功をおさめた2010年の第一回に続くものであり、期待を受けながら、二度目の開催に向かって船出しました。しかし、現在は荒波の時代です。大地が激しく揺れた東日本大震災が引き金となって、自然の恵みをもたらしてきた海が沿岸の街を襲い、原発の事故も発生しました。日本が大きな試練を迎え、転換を迫られるなかで、このトリエンナーレは世界に文化芸術を発信する国際展となります。したがって、先端的なアートの動向を紹介する第一回の長所を継承しつつも、荒波を越えていくための新機軸や時代性を織り込んでいきます。

19世紀末にゴーギャンは「われわれはどこから来たのか、われわれは何者か、われわれはどこへ行くのか」という題名の絵を描きました。これに対して、今度のトリエンナーレは「われわれはどこに立っているのか」を考えたいと思います。当たり前だと思っていた根拠を失い、既成の枠組が変動するとき、自らが踏みしめる大地＝アイデンティティがどうなっているかを確認する必要があります。この問いは、場所の固有性を具体的に考えることにもつながると考えます。美術館の箱の中とは違う、街に染みだしていく祝祭的な風景は、あいちトリエンナーレの特徴ですが、新しく芸術が介入することで、都市の可能性を開くだけでなく、作品を通じて、すでにわれわれが立っている日常的な場を再発見することができます。場所の力を引きだし、空間の意味を変えるのは、美術や建築だけではありません。このトリエンナーレでは、パフォーマンスアーツの分野においても、視覚芸術との実験的な統合を試みながら、いま、ここでしか体験できない空間を生みだします。

多くの犠牲者を出した3.11のカタストロフに遭遇した後、アートに何ができるか、という議論がおきました。これは日本だけの問題ではありません。さまざま意見があるでしょうが、芸術がなすべき役割のひとつは、人類が生みだした最強の文化的な記憶装置として過去を忘れないようにすることでしょう。そして記憶を呼び戻し、希望を復活させること。われわれが再び歩きだし、青い空を見上げることができるように。このトリエンナーレは、固有の場所に結びつく記憶と復活を通じて、アートの力を社会に問いかけ、われわれが生きる街の輝きを増していくことをめざします。

あいちトリエンナーレ2013芸術監督 五十嵐 太郎

企画体制

芸術監督



五十嵐太郎

1967年パリ生まれ。中部大学講師、東北大学大学院助教授を経て、2009年から東北大学大学院教授。

2008年ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展では、日本館コミッショナーを務めた。

2010年に開催されたあいちトリエンナーレ2010では、長者町企画コンペの選考委員も務めた。

現在、東北大学大学院工学研究科教授(都市・建築学)。

現代美術の国際展

【キュレーター】

ルイス・ビッグス、住友文彦、飯田志保子
拝戸雅彦(愛知県国際芸術祭推進室)

【アーキテクト】

武藤 隆

【アシスタントキュレーター】

飯田真実、佐野明子、柴田直美、原田真千子、堀江紀子、吉田有里

【アシスタントアーキテクト】

山岸 綾

【コーディネーター】

かないみき

【愛知県美術館】

中村史子、塩津青夏

【名古屋市美術館】

山田 諭

【愛知県国際芸術祭推進室】

清澤暁子、岩手瑞穂

映像プログラム

【キュレーター】

越後谷卓司(愛知芸術文化センター)

【アシスタントキュレーター】

澤 隆志

パフォーミングアーツ

【プロデューサー】

小崎哲哉〔統括〕、前田圭蔵、藤井明子(愛知芸術文化センター)
唐津絵理(愛知芸術文化センター)

【愛知県国際芸術祭推進室】

阿部晃久

プロデュースオペラ

【プロデューサー】

水野 学(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

普及・教育

【コミュニティ・デザイナー】

菊池宏子

【エドュケーター】

田中由紀子、岩野早苗、寺島千絵

【愛知県美術館】

藤島美菜

【公益財団法人愛知県文化振興事業団】

小出充訓

公式デザイン

【公式デザイナー】

廣村正彰

(公式デザインチーム)

藤本康一、平井秀和

POWDER DESIGN(松井伸之・喜多紀和・瀬川晃・森田展之)

広 報

【PRオフィサー】

鈴木潤子

【コーディネーター】

青木雅司

オフィシャルグッズ

【アドバイザー】

高北幸矢

展開概要

《主催事業》

現代美術

【現代美術の国際展】(美術館及びまちなかでの展示)

- ・国内外から75組のアーティストが出品し、最先端の現代美術を紹介する日本最大級の国際芸術祭です。
- ・愛知県美術館を含む愛知芸術文化センターを中心に、名古屋市美術館、更には、名古屋市内のまちなか(長者町会場、納屋橋会場など)や、岡崎市内のまちなか(東岡崎駅会場、康生会場、松本町会場)で展開します。
- ・作家や作品の選定において、「建築」の視点を取り入れます。
- ・愛知・名古屋を象徴するオアシス21やテレビ塔などの都市空間において、都市の魅力を増すスペクタクルな作品の展示を行います。

【企画コンペによる展示】

- ・新進作家等を対象にして、公募によって選ばれた企画展示を長者町会場で実施します。
- ・10企画程度選考予定。

【映像プログラム】

- ・テーマと関連する映像作品を、実験映画、ビデオアート、ドキュメンタリー、アニメーション、劇映画等のジャンル区分を越えた視点から選出し、独自のプログラミングにより提示します。
- ・国内外から15組程度のアーティスト・団体が参加します。

舞台芸術

【パフォーミングアーツ】

- ・国内外から15団体程度が参加し、最先端のダンス、演劇、音楽を、愛知芸術文化センターを中心にまちなかでも上演します。
- ・ジャンルの垣根を越え、ダンス、演劇、造形美術、建築等を架橋する作品を重視します。
- ・今回のテーマである「揺れる大地ーわれわれはどこに立っているのか:場所、記憶、そして復活」は、不条理演劇を代表するサミュエル・ベケットの世界観と大きく相通ずると考えており、「われわれが立っている場所を見つめ直す」をコンセプトにベケット的な作品を中心に展開します。

【プロデュースオペラ】

- ・イタリア人指揮者 カルロ・モンタナーロと、新進気鋭の演出家 田尾下哲により、イタリアと日本の伝統と文化が交錯して生まれたオペラ「蝶々夫人」を上演します。
- ・日本の旋律が織り込まれた美しい音楽と斬新な舞台空間を、愛知芸術文化センター大ホールで展開します。

指揮：カルロ・モンタナーロ

演出：田尾下 哲

演目：ブッチーニ作曲「蝶々夫人」(全2幕、イタリア語上演、日本語字幕付き)

公演日：9月14日(土)、9月16日(月・祝) 両日とも15:00開演

普及・教育

【キッズトリエンナーレ】

- ・愛知県美術館のギャラリーJ室に、子どもたちが毎日自由に創作活動するなど、アートを体感できるスタジオを開設します。
 - ・夏休みや週末を中心に、子どもや親子を対象としたワークショップを実施します。
- 18企画程度(公募企画を含む)実施予定

【学校向けプログラム】

- ・授業、校外学習、部活動など様々な学校行事を活用して、児童・生徒に世界最先端の現代美術に触れてもらうため、学校向け団体鑑賞プログラムを実施します。
- ・トリエンナーレの参加アーティスト等を学校へ派遣し、子どもたちと一緒に作品制作等を行うアーティスト派遣事業を実施します。

【パブリック・プログラム】

- ・トリエンナーレをより身近に感じていただくため、出品作家によるアーティストトークや、この地域の文化の魅力に迫るレクチャーシリーズ、県内外の各種団体との連携によるプログラムなどを実施します。

祝祭的展開

【建築関連プロジェクト】

- ・建築の視点からまちの魅力を再発見する機会を提供するため、まちなかの歴史的に価値のある建築物やデザインに特徴のある建築物等を解説するガイドブック「あいち建築ガイド」を作成します。
- ・普段一般公開されていない建築物等の魅力を広く共有するため、ガイドツアー形式による「オープンアーキテクチャー」を実施します。

10企画程度

実施予定の建築物(3月22日時点)

- ・四間道・伊藤家住宅(名古屋市)
 - ・愛知産業大学言語・情報共育センター(岡崎市)
- ※上記の他、様々な団体が10企画程度の連携プログラムを実施します。

地域との連携

【モバイル・トリエンナーレ(移動型展示)】

- ・トリエンナーレ会期中の週末を中心に、参加アーティストの作品25点程度を、県内4か所の文化施設等において巡回展示します。(入場無料)
 - ・トリエンナーレ本展で展示される作品とは異なる作品を期間限定で展示します。
 - ・作品展示に併せ、ワークショップなどを開催します。
- ※「モバイル・トリエンナーレ」は、これまで「トリエンナーレトラック(仮称)(移動型展示)」としていたものの正式名称です。

(開催地及び日程)

開催市町	会場	日程
豊橋市	穂の国とよはし芸術劇場プラット	8月23日(金)～25日(日)
知多市	知多市歴史民俗博物館	9月13日(金)～16日(月・祝)
春日井市	文化フォーラム春日井	9月20日(金)～23日(月・祝)
東栄町	旧東部小学校	9月27日(金)～29日(日)

主な出品作家: 青木野枝、ヤノベケンジ、渡辺 豪

《連携事業》

【祝祭ウィーク事業】

・会期中に祝祭ウィークを設け(9月30日(月)～10月6日(日)の7日間)、愛知芸術文化センターの大ホール、コンサートホール及び小ホールで、企画公募により選考した14の地元文化芸術団体等と共催で舞台公演を行います。

○ 公演日・公演団体

【大ホール】

- 10月1日(火) 松本道子バレエ団
- 10月3日(木) 名古屋芸術大学
- 10月5日(土) テアトル・ド・バレエ カンパニー
- 10月6日(日) ジャズ ラブ オーケストラ

【コンサートホール】

- 9月30日(月) 「NEXT」くりもとようこ&野々村明子
- 10月2日(水) Groupe Créatif K～Kae KURACHI & Tamami KODAMA
- 10月4日(金) 一般社団法人セントラル愛知交響楽団
- 10月5日(土) 長屋弘子
- 10月6日(日) 奥村晃平

【小ホール】

- 9月30日(月) 『Re:』製作実行委員会
- 10月2日(水) SOM企画(オレンジスタ、afterimage)
- 10月3日(木) 水野みか子
- 10月5日(土) 社団法人現代舞踊協会中部支部
- 10月6日(日) 三代真史ジャズ舞踊団

【芸術大学連携事業】

・愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学が連携し、「大学連携プロジェクト」として、長者町会場にある「アートラボあいち」2・3階で、展覧会を実施します。(入場無料)

・愛知芸術文化センターで、3つの芸術大学の先生方による座学、体験講座を実施します。

○ アートラボあいちでの作品展示日程

日 程	
第 1 期	8月9日(金)～9月2日(月)
第 2 期	9月7日(土)～9月29日(日)
第 3 期	10月4日(金)～10月27日(日)

※会期毎にテーマを設定します。

※3つの大学を横断して在校生、卒業生を中心とした作品を展示します。

【特別連携事業】

・愛知県内の美術館やホール等において、あいちトリエンナーレ2013と同時期にトリエンナーレのテーマや企画と連携して実施される事業を「特別連携事業」とし、一体的かつ相互に広報展開を図ります。

○ 事業一覧

(3月22日時点)

会場	会期	展覧会名	概要
豊田市美術館	9月14日(土)～ 12月24日(火)	反重力ー 浮遊 時空旅行 パラレル・ワールド(仮)	身体から解放される軽やかな空間性を感じ、地上の価値観から離れた巨視的な視座を提示

【並行企画事業】

・あいちトリエンナーレ2013と同時期に開催される先端的な現代美術展や舞台芸術を「並行企画事業」として紹介、一体的かつ相互に広報展開を図ります。

○ 事業一覧

(3月22日時点)

会場	会期	展覧会名	概要
岡崎市 美術博物館	8月17日(土)～ 10月20日(日)	ユーモアと飛躍(仮称)	アートのもつユーモアとそれがもたらす思考の飛躍と世界の広がりについて取り上げる
碧南市藤井達吉 現代美術館	7月17日(水)～ 9月1日(日)	記憶のモニュメント その軌跡の展開 石黒鏘二展	名古屋を代表する現代彫刻家、石黒鏘二の回顧展
三重県立美術館	7月13日(土)～ 9月23日(月・祝)	三沢厚彦 ANIMALS 2013 in 三重	彫刻家三沢厚彦の動物をテーマにした彫刻などを展示

【パートナーシップ事業】

・民間企業や自治体、地元文化芸術団体等が原則として県内で行う文化芸術事業を「パートナーシップ事業」として募集し、相互に広報協力を行います。

・平成24年8月から募集を開始し、平成25年3月15日現在で116件を決定しています。

【ボランティア】

・トリエンナーレの会場運営(作品看視等)、ガイドツアー(ツアー形式による作品解説等)などを多くのボランティアに担ってもらい、トリエンナーレを盛り上げていただきます。

・平成24年8月から募集を開始し、平成25年3月15日現在で931名の方からのお申し込みをいただいています。

主な特徴

あいちトリエンナーレ2013は、『揺れる大地—われわれはどこに立っているのか:場所、記憶、そして復活』のテーマのもと、次のような特徴があります。

象徴的なテーマ展開

- 現代美術ではヤノベケンジやオノ・ヨーコが希望の「復活」に繋がる作品を出品するほか、リチャード・ウィルソンの作品は「場所」、「記憶」、「復活」を表現します。



ヤノベケンジ

希望の復活のシンボルといえる《サン・チャイルド》を中心に、多くの人が祝福し、新たな未来を育んでいく結婚式を挙げる展示空間を愛知県美術館に出現させます。

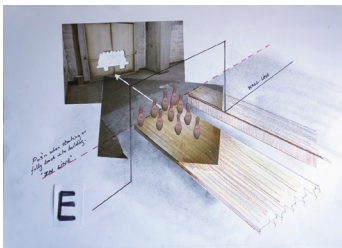
《サン・チャイルド》2011
courtesy of the artist



オノ・ヨーコ

社会に対する強いメッセージを発するアーティストとして、そして音楽家、平和運動家として高い評価を受けているオノ・ヨーコ氏。今回のトリエンナーレでは、復活をテーマにしたメッセージを、テレビ塔やまちなかで展開します。

photo: © Synaesthete
courtesy of Yoko Ono

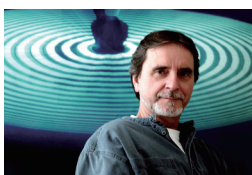


リチャード・ウィルソン

以前はボウリング場として使われていた納屋橋会場。その建物の記憶を復活させる立体的な作品を展示します。建物の外からも見られるこの作品は、多くの方々に驚きを与えてくれるでしょう。

あいちトリエンナーレ2013のためのドローイング

- パフォーマンスアートでは、舞台芸術と視覚造形美術を架橋する作品を重視するとともに、テーマに沿ったプログラム編成を行います。不条理演劇を代表するサミュエル・ベケットの世界観は、今回のテーマに極めて近いものです。今日、「われわれが立っている場所」を見つめ直すために、人間の生と死について思いを凝らした彼の作品ほどふさわしい芸術作品はありません。すべてではありませんが、いまや「現代の古典」たるベケットに想を得た作品や、ベケット的な作品を中心に演目を編成します。



イリ・キリアン

現代の代表的振付家の一人キリアン氏は、親日家で、東日本大震災に心を痛めています。世界初演となる新作「East Shadow」(仮)は、ベケットの哲学から着想されたダンスパフォーマンス。生と死をテーマに、シリアスにしてユーモラスな物語が繰り広げられます。映像は米国のジェイソン・アキラ・ソンマ氏、作曲・ピアノはアムステルダム在住の向井山朋子氏が担当。ジャンルと国籍を超えて被災者への共感を表す作品です。

courtesy of the Kyllion Foundation

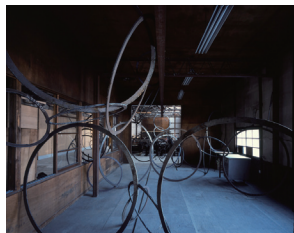
○プロデュースオペラ

「蝶々夫人」

プッチーニは一度も訪れることのなかった日本をファンタジーによって思い描き、『蝶々夫人』を作曲しました。「君が代」、「さくらさくら」、「お江戸日本橋」、「越後獅子」、「宮さん宮さん」などの日本のメロディーが印象的に使われ、日本家屋の木や紙で出来ている様子、間仕切りを動かすことで変わる空間の柔軟さをオーケストラが軽やかに、カノン形式で冒頭から表します。悲運の恋に生きた一人の日本人女性「蝶々さん」がどのように恋に生き、名誉に死んだのか。アメリカ人兵士と結婚したと信じ、自分をアメリカ人と信じる蝶々さんが最後は武士の娘として、日本人として自決する。揺れるアイデンティティーの問題として描きたいと思います。(演出家 田尾下 哲)

まちなか展開の拡大

○名古屋市内の会場に加え、近世、近代、現代の建物が複層的かつコンパクトに存在する岡崎市内のまちなかでも展開します。



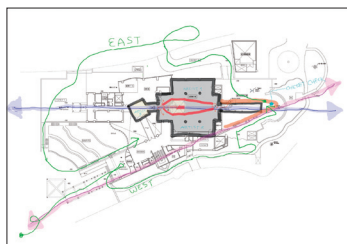
青木野枝

岡崎市松本町にある徳川家康にちなむ歴史的な寺院前に位置する木造アーケードで、「鉄」を素材にした作品を展開し、大気と時間を包み込んだ場所を体験していただきます。青木氏は、名古屋市内の納屋橋会場でも作品を展示します。

《空の水-II》2005
アートプログラム青梅 SAKURA FACTORY (青梅市)での展示風景
photo:山本紉
courtesy of Gallery Hashimoto, Tokyo

建築の視点の導入

○作家や作品の選定において、建築の視点を取り入れています。



青木 淳

黒川紀章設計による築25年の名古屋市美術館を、新たに読解し、その使用方法を再構成します。来場者のみなさんに、これまでと違う名古屋市美術館を体験いただけます。

あいちトリエンナーレ2013のためのプラン

○普段一般公開されていない建築物等を紹介する「オープンアーキテクチャー」では、建築空間や時代背景など、それぞれの建築物が持つさまざまな魅力を共有していただきます。



愛知産業大学言語・情報共育センター(岡崎市)

現代美術の出品作家でもある若手建築家のユニットstudio velocityによる2013年竣工の作品を公開します。

参加アーティスト ※アルファベット順 ★は今回発表アーティスト

参加アーティスト・公演団体(現代美術)

	名前(日/英)	生年	出身地(国)	ジャンル	
1	青木 淳	AOKI Jun	1956年	日本	建築
2	青木野枝	AOKI Noe	1958年	日本	彫刻
3	青野文昭	AONO Fumiaki	1968年	日本	彫刻
★	4 荒井理行	ARAI Masayuki	1984年	アメリカ	絵画
5	ブラスト・セオリー	Blast Theory	1991年設立	イギリス	インスタレーション
★	6 ジャネット・カーディフ& ジョージ・ビュレス・ミラー	Janet CARDIFF and George BURES MILLER	1957年 1960年	カナダ	インスタレーション
7	ステファン・クチュリエ	Stéphane COUTURIER	1957年	フランス	写真
8	ミッチ・エプスタイン	Mitch EPSTEIN	1952年	アメリカ	写真
9	ニナ・フィッシャー& マロアン・エル・サニ	Nina FISCHER and Maroan EL SANI	1965年 1966年	ドイツ	ビデオ・インスタレーション
10	藤森照信	FUJIMORI Terunobu	1946年	日本	建築
11	藤村龍至	FUJIMURA Ryuji	1976年	日本	建築
12	マーロン・グリフィス	Marlon GRIFFITH	1976年	トリニダード・トバゴ	パフォーマンス
13	ゲッラ・デ・ラ・パス	Guerra de la Paz	アライン・ゲッラ1968年 ネラルド・デ・ラ・パス1955年	キューバ	インスタレーション
14	ハン・フェン	HAN Feng	1972年	中国	絵画、彫刻、インスタレーション
15	彦坂尚嘉	HIKOSAKA Naoyoshi	1946年	日本	絵画、建築
★	16 平川祐樹	HIRAKAWA Youki	1983年	日本	ビデオ・インスタレーション
★	17 平田五郎	HIRATA Goro	1965年	日本	彫刻
★	18 トーマス・ヒルシュホルン	Thomas HIRSCHHORN	1957年	スイス	インスタレーション
★	19 池田剛介	IKEDA Kosuke	1980年	日本	サウンド・インスタレーション
20	インヴィジブル・プレイグラウンド	Invisible Playground	2009年結成	ドイツ	インタラクティブ・プロジェクト
★	21 伊坂義夫、大坪美穂、岡本信治郎、小堀令子、清水洋子、白井美穂、松本旻、山口啓介、王舒野、PYTHAGORAS ³ (覆面作家)	ISAKA Yoshio, OTSUBO Miho, OKAMOTO Shinjiro, KOBORI Reiko, SHIMIZU Yoko, SHIRAI Mio, MATSUMOTO Akira, YAMAGUCHI Keisuke, WANG Shuye, PYTHAGORAS ³	2003年制作開始	日本	絵画
22	石上純也	ISHIGAMI Junya	1974年	日本	建築
23	アルフレッド・ジャー	Alfredo JAAR	1956年	チリ	インスタレーション
24	ミハイル・カリキス& ウリエル・オルロー	Mikhail KARIKIS and Uriel ORLOW	1975年 1973年	ギリシャ スイス	ビデオ
25	片山真理	KATAYAMA Mari	1987年	日本	インスタレーション
★	26 國府 理	KOKUFU Osamu	1970年	日本	インスタレーション
★	27 レッド・ペンシル・スタジオ	LEAD PENCIL STUDIO	1997年結成	アメリカ	建築
★	28 イ・ブル	LEE Bul	1964年	韓国	彫刻
29	ニッキ・ルナ	Nikki LUNA	1977年	フィリピン	インスタレーション
30	バシーア・マクール	Bashir MAKHOUL	1963年	パレスチナ	インスタレーション
31	アンジェリカ・メシティ	Angelica MESITI	1976年	オーストラリア	ビデオ・インスタレーション
32	アーンウト・ミック	Aernout MIK	1962年	オランダ	ビデオ・インスタレーション
33	宮本佳明	MIYAMOTO Katsuhiko	1961年	日本	建築
34	Nadegata Instant Party	Nadegata Instant Party	2006年活動開始	日本	インタラクティブ・プロジェクト
35	奈良美智	NARA Yoshitomo	1959年	日本	絵画
36	名和晃平	NAWA Kohei	1975年	日本	彫刻
★	37 新美泰史	NIIMI Taishi	1975年	日本	絵画
★	38 西岳拓貴	NISHITAKE Hiroki	1984年	日本	インスタレーション
★	39 丹羽良徳	NIWA Yoshinori	1982年	日本	ビデオ
★	40 クリスティナ・ノルマン	Kristina NORMAN	1979年	エストニア	インスタレーション
41	岡本信治郎	OKAMOTO Shinjiro	1933年	日本	絵画
42	オノ・ヨーコ	ONO Yoko	1933年	日本	インスタレーション
43	打開連合設計事務所	Open United Studio	2001年設立	台湾	建築
44	コーネリア・パーカー	Cornelia PARKER	1956年	イギリス	インスタレーション
45	ニラ・ペレグ	Nira PEREG	1969年	イスラエル	ビデオ・インスタレーション
46	ダン・ペルジョヴスキ	Dan PERJOVSKI	1961年	ルーマニア	インスタレーション
47	ウィット・ビムカンチャナポン	Wit PIMKANCHANAPONG	1976年	タイ	インスタレーション
48	ニコラス・プロヴォスト	Nicolas PROVOST	1969年	ベルギー	ビデオ
49	ワリッド・ラード	Walid RAAD	1967年	レバノン	インスタレーション
★	50 フィリップ・ラメット	Philippe RAMETTE	1961年	フランス	インスタレーション
51	リアス・アーク美術館	Rias Ark Museum of Art	1994年開館	日本	インスタレーション
52	リゴ23	Rigo 23	1966年	ポルトガル領マデイラ島	インスタレーション
53	アリエル・シュレジンガー	Ariel SCHLESINGER	1980年	イスラエル	インスタレーション

参加アーティスト・公演団体(現代美術)

	名前(日/英)	生年	出身地(国)	ジャンル
	54 キャスパー・アストラップ・シュレーダー+ BIG	Kaspar Astrup SCHRÖDER + BIG	1979年 BIG 2006年設立	デンマーク ビデオ
	55 ソ・ミンジョン	SEO Min-jeong	1972年	韓国 インスタレーション
★	56 志賀理江子	SHIGA Lieko	1980年	日本 写真
	57 下道基行	SHITAMICHI Motoyuki	1978年	日本 インスタレーション
★	58 シュカルト	Škart	1990年結成	セルビア 建築
	59 フロリアン・スロタワ	Florian SLOTAWA	1972年	ドイツ ビデオ
	60 studio velocity / 栗原健太郎+ 岩月美穂	studio velocity / KURIHARA Kentaro + IWATSUKI Miho	2006年設立	日本 建築
	61 菅沼朋香	SUGANUMA Tomoka	1986年	日本 インスタレーション
	62 杉戸 洋	SUGITO Hiroshi	1970年	日本 絵画
	63 ミカ・ターニラ	Mika TAANILA	1965年	フィンランド ビデオ・インスタレーション
★	64 高橋匡太	TAKAHASHI Kyota	1970年	日本 インスタレーション
★	65 竹田尚史	TAKEDA Hisashi	1976年	日本 インスタレーション
	66 ブーンスイ・タントロンシン	Boonsri TANGTRONGSIN	1978年	タイ ビデオ
	67 渡辺 豪	WATANABE Go	1975年	日本 ビデオ
	68 和田礼治郎	WADA Reijiro	1977年	日本 彫刻
	69 リチャード・ウィルソン	Richard WILSON	1953年	イギリス インスタレーション
★	70 ケーシー・ウオン	Kacey WONG	1970年	中国 インスタレーション
★	71 山下拓也	YAMASHITA Takuya	1985年	日本 インスタレーション
	72 やなぎみわ	YANAGI Miwa	—	日本 パフォーマンス
	73 ヤノベケンジ	YANOBE Kenji	1965年	日本 彫刻
	74 横山裕一	YOKOYAMA Yuichi	1967年	日本 絵画
	75 米田知子	YONEDA Tomoko	1965年	日本 写真

参加アーティスト・公演団体(パフォーマンス)

	名前(日/英)	生年	出身地(国)	公演場所
★	1 ARICA+ 金氏徹平	ARICA + KANEUJI Teppei	2001年結成 1978年	日本 愛知芸術文化センター小ホール
	2 藤本隆行+ 白井 剛	FUJIMOTO Takayuki + SHIRAI Tsuyoshi	— —	日本 日本 愛知芸術文化センター小ホール
	3 ほうほう堂	Ho Ho-Do	2001年結成	日本 長者町会場周辺
	4 イリ・キリアン	Jiří KYLIÁN	1947年	チェコ 愛知芸術文化センター小ホール
	5 ままごと	mamagoto	2009年結成	日本 愛知芸術文化センター小ホール
★	6 マチルド・モニエ	Mathilde MONNIER	1959年	フランス 愛知芸術文化センター小ホール
	7 向井山朋子+ ジャン・カルマン	MUKAIYAMA Tomoko + Jean KALMAN	— 1945年	日本 フランス 岡崎地区康生会場
	8 プロジェクトFUKUSHIMA! (総合ディレクション:大友良英)	PROJECT FUKUSHIMA! (directed by OTOMO Yoshihide)	2011年結成	日本 オアシス21
★	9 清水靖晃	SHIMIZU Yasuaki	1954年	日本 愛知芸術文化センター小ホール
	10 ジェコ・シオンボ	Jecko SIOMPO	1975年	インドネシア 愛知芸術文化センター小ホール
	11 梅田宏明	UMEDA Hiroaki	1977年	日本 愛知芸術文化センター小ホール
	12 ペーター・ヴェルツ+ ウィリアム・フォーサイス	Peter WELZ + William FORSYTHE	1972年 1949年	ドイツ アメリカ 愛知県美術館 ギャラリーG
	13 やなぎみわ	YANAGI Miwa	—	日本 愛知芸術文化センター小ホール

参加アーティスト・公演団体(プロデュースオペラ「蝶々夫人」)

	名前(日/英)	役	生年	出身地(国)
1	カルロ・モンタナロ	Carlo MONTANARO	指揮	1969年 イタリア
2	田尾下 哲	TAOSHITA Tetsu	演出	1972年 日本
3	安藤赴美子	ANDO Fumiko	蝶々さん	— 日本
4	カルロ・バリッチェリ	Carlo BARRICELLI	ピンカートン	— イタリア
5	ガブリエーレ・ヴィヴィアーニ	Gabriele VIVIANI	シャープレス	— イタリア
6	田村由貴絵	TAMURA Yukie	スズキ	— 日本

参加アーティスト・団体(映像プログラム)

	名前(日/英)	生年	出身地(国)
★	1 姫田真武	HIMEDA Manabu	1988年 日本
★	2 細江英公	HOSOE Eikoh	1933年 日本
★	3 三宅 唱	MIYAKE Sho	1984年 日本
★	4 ぬQ	Nukyu	— 日本
★	5 土本典昭	TSUCHIMOTO Noriaki	1928年 日本

開催日

現代美術スケジュール

会場	内容	開催日
愛知芸術文化センター(愛知県美術館、アートスペース)	国際美術展/キッズトリエンナーレ	8月10日(土)~10月27日(日)
名古屋市美術館	国際美術展	
長者町会場	国際美術展/企画コンペ	
納屋橋会場	国際美術展	
東岡崎駅会場 康生会場 松本町会場	国際美術展	
トリエンナーレ会場周辺(オアシス21、テレビ塔など)の都市空間	国際美術展	

舞台公演等スケジュール

(1) 愛知芸術文化センター大ホール公演

内容	演目	公演日
プロデュースオペラ	プッチーニ作曲「蝶々夫人」	9月14日(土)、16日(月・祝)

(2) 愛知芸術文化センター小ホール公演 ※日程等掲載情報は現時点での予定であり、変更することがあります。

団体名等	演目	公演日
ままごと	「日本の大人」(仮称・新作)	8月10日(土)~15日(木)
藤本隆行+白井 剛	「Node/砂漠の老人」(新作)	8月23日(金)~25日(日)
やなぎみわ	「ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ」(仮称・新作)	8月30日(金)~9月1日(日)
梅田宏明	「4. temporal pattern」(日本初演)ほか	9月6日(金)~8日(日)
イリ・キリアン	「East Shadow」(仮称・新作)	9月14日(土)~16日(月・祝)
清水靖晃	未定	9月28日(土)予定
ARICA+金氏徹平	「しあわせな日々」(予定)	10月12日(土)~14日(月・祝)
ジェコ・シオンボ	「Room Exit (Terima Kost)」(日本初演)	10月18日(金)~20日(日)
マチルド・モニエ	「Pudique Acide/Extasis (restaging)」(日本初演)	10月26日(土)~27日(日)

(3) 愛知県美術館ギャラリーG展示

団体名等	演目	公演日
ペーター・ヴェルツ+ウィリアム・フォーサイス	「whenever on on on nohow on airdrawing」 (映像インスタレーション)(日本初公開)	8月10日(土)~10月27日(日)

まちなか公演スケジュール

※日程等掲載情報は現時点での予定であり、変更することがあります。

(1) 長者町会場周辺

団体名等	演目	公演日
ほうほう堂	「ほうほう堂@あいちトリエンナーレ2013」(仮称・新作)	9月21日(土)~22日(日)

(2) オアシス21

団体名等	演目	公演日
プロジェクトFUKUSHIMA! (総合ディレクション:大友良英)	「フェスティバルFUKUSHIMA in AICHI!」(仮称・新作)	9月7日(土)~8日(日)

(3) 岡崎地区 康生会場

団体名等	演目	公演日
向井山朋子+ジャン・カルマン	「FALLING」(仮称・新作)	未定

チケット情報

国際美術展(現代美術)

○特別先行前売券販売期間 4月1日(月)～4月30日(火)

普通チケット 一般 ¥1,000 大学生 ¥700 高校生 ¥300

○前売券販売期間 5月1日(水)～8月9日(金)

普通チケット 一般 ¥1,400 大学生 ¥1,000 高校生 ¥500

ペアチケット 一般 ¥2,600

フリーパス 一般 ¥3,000 大学生 ¥2,000 高校生 ¥1,000

○当日券販売期間 8月10日(土)～10月27日(日)

普通チケット 一般 ¥1,800 大学生 ¥1,300 高校生 ¥700

団体割引チケット 一般 ¥1,400 大学生 ¥1,000 高校生 ¥400

フリーパス 一般 ¥3,500 大学生 ¥2,500 高校生 ¥1,200

※この他に、岡崎地区のみを観覧できるチケット(高校生以上300円、当日券のみ)も販売します。
※中学生以下は無料です。

チケット取り扱い

愛知芸術文化センター内プレイガイド TEL:052-972-0430

チケットぴあ TEL:0570-02-9999(Pコード:765-634)

イープラスe+ <http://eplus.jp>

ローソン(特別先行前売券Lコード:47978、前売券・当日券Lコード:47979) ※今後も拡充

お問い合わせ先:

あいちトリエンナーレ入場券管理センターTEL:052-952-7113(10:00-18:00 土日祝休み 会期中は無休)

<http://aichitriennale.jp/>

プロデュースオペラ「蝶々夫人」

公演日 9月14日(土)、16日(月・祝) 発売日3月30日(土)10:00より販売開始

S席 ¥15,000 A席 ¥12,000 B席 ¥9,000 C席 ¥6,000 D席 ¥3,000(学生¥2,000)

チケット取り扱い

愛知芸術文化センター内プレイガイド TEL:052-972-0430

チケットぴあ TEL:0570-02-9999(Pコード:192-744)

アイ・チケット TEL:0570-00-5310 <http://clanago.com/i-ticket>(座席選択可)

お問い合わせ先:

(公財)愛知県文化振興事業団 TEL:052-971-5609(平日9:00-17:30 受付)

<http://www.aac.pref.aichi.jp/sinkou/>

パフォーミングアーツ公演

6月下旬より販売開始予定 ※各公演の日程や会場については、今後、ホームページ等で発表します。

会場

名古屋地区



愛知芸術文化センター

愛知県美術館と本格的なオペラを上演可能な大ホール、小ホールやコンサートホールなどが複合した日本屈指の大規模文化芸術施設。1992年開館。

(名古屋市東区東桜1-13-2)



名古屋市美術館

名古屋中心部の緑豊かな白川公園のなかにある美術館。黒川紀章の代表作として名高い。1988年開館。

(名古屋市中区栄2-17-25)



長者町会場

名古屋の中心地・栄と名古屋駅の間に位置し、名古屋有数のオフィス街でありながらも喧噪とは違う独特の賑わいを合わせ持つ。江戸時代には城下の中心地として栄え、戦後は東京の日本橋横山町、大阪の船場井池筋と並ぶ日本三大繊維問屋街の一つとして発展してきた。あいちトリエンナーレ2010のまちなか会場でもあった。(名古屋市中区錦2など)



納屋橋会場

納屋橋の南に位置する、ボウリング場として建設された建物を拠点に展開する会場。

あいちトリエンナーレ2010のまちなか会場でもあった。

(名古屋市中区栄1-2)

岡崎地区



東岡崎駅会場

岡崎市の玄関口として中心市街地に位置する名古屋鉄道の駅。

駅ビルなどで展示予定。

(岡崎市明大寺本町4)



康生会場

徳川家康公の生誕地・岡崎城の城下町、東海道の宿場町として発展してきた中心市街地。

三河武士発祥の地としても知られる。

ショッピングセンターや空き店舗などで展示予定。

(岡崎市康生通東、岡崎市康生通西など)



松本町会場

かつて花街として栄え、狭い路地や木造アーケードから昭和の香りがただよう町並み。

松應寺周辺の空きスペースなどで展示予定。

(岡崎市松本町)

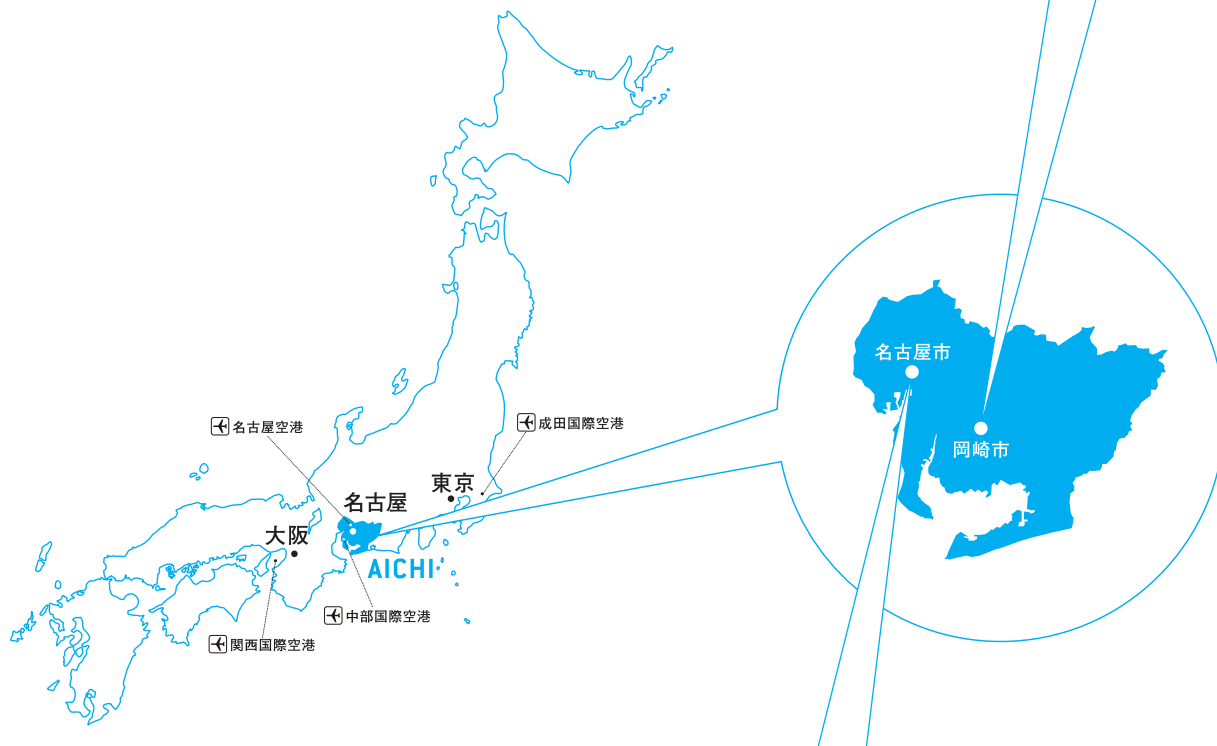
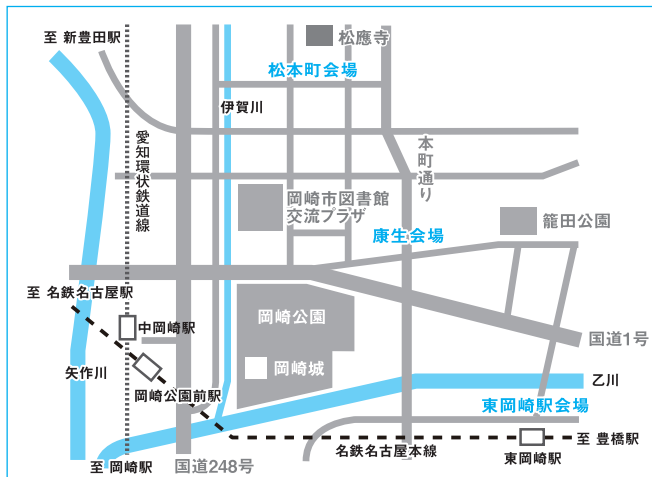
アクセス

交通機関のご案内

名古屋～東京間は新幹線(のぞみ)約1時間30分

名古屋～大阪間は 〃 約1時間

名古屋～岡崎市内へは鉄道(名古屋鉄道)約30分





お問い合わせ

あいちトリエンナーレ実行委員会
〒461-8525 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター6階
TEL:052-971-6111 FAX:052-971-6115
E-mail:geijutsusai@pref.aichi.lg.jp